

東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-6-7  
TEL 03-6424-4020  
FAX 03-6424-4021  
長崎事務所 〒852-8026 長崎市金堀町30-3  
TEL 095-818-1033  
FAX 095-808-1036  
東海事務所 〒491-0919 愛知県一宮市住吉2-3-14  
TEL 050-3623-9750

仙台事務所 〒981-3214 仙台市泉区館2-6-1  
TEL 022-343-9984  
FAX 022-343-9164  
広島事務所 〒732-0014 広島市東区戸坂大上4-23-5  
TEL 082-516-6603  
FAX 082-516-6604

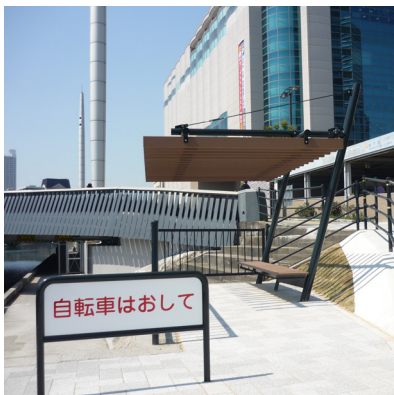
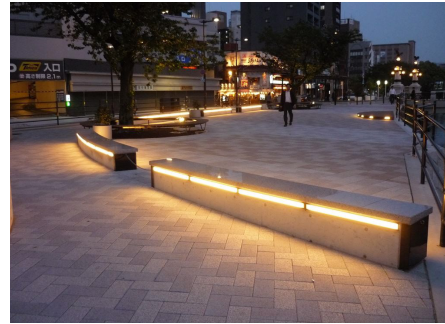
佐野工場 〒327-0812 栃木県佐野市町谷町303-1  
TEL 0283-86-7245  
FAX 0283-86-7246  
本社/工場 〒818-0046 福岡県筑紫野市山口1929-7  
TEL 092-925-9858  
FAX 092-925-9857

## 13

## 東部河岸緑地(広島駅南口Bブロック前)整備工事



広島駅南口Bブロックは、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生しようとするものです。広島市現存最古橋梁、また被爆橋梁であります猿猴橋（えんこうばし）付近に緑地を設けることにより「水の都ひろしま」の玄関として多くの方に親しんでいただける「川の駅」として利用される事を目的とした整備です。



パーゴラに関しては、コンサルさんからのデザイン要望で、ルーバーを左右に散らせ、バラつかせることによって、人工的かつ画一的な堅いイメージを払拭し、自然の木陰を演出しました。

下部のベンチを含め全体的に R を付け丸みを帯びたデザインとなっており、下にデッキベンチを設置することにより、休憩舎としての利用を促しています。

広島市中心部の顔となるような場所で沢山の方が利用し目に止まるような場所に、製造メーカーとして施設の協力が出来ることは特にやりがいがあり、また、神経を使いながら挑ませて貰いました。全体として多様な施設を複数配置したにも関わらず、開放的な空間に感じられます。

また、昼は昼食を摂ったりするなど憩いの場所として、夜は様々な人々の交流の場所として昼夜問わず緑地全体が賑わっており、当初の計画である「川の駅」としての機能は十分に果たしているのではないかと感じました。



<パーゴラ A: H2750 x D2030 ~>  
本体: 再生木材 (SE ウッド)  
スチール材 (溶融亜鉛メッキ処理+ウレタン樹脂塗装仕上げ)  
<パーゴラ B: H3000 x W4200 x D2950>  
本体: 再生木材 (SE ウッド)  
スチール材 (溶融亜鉛メッキ処理+ウレタン樹脂塗装仕上げ)  
<ステージデッキ: H3482 x 口330>  
本体: 再生木材 構造: ステンレス材  
LED 照明  
<展望デッキ: H3482 x 口330>  
本体: 再生木材 構造: ZAM 鋼板

<車止め: H2750 x D2030 ~>  
本体: ステンレス材 (ウレタン樹脂塗装仕上げ)  
チェーン (別途)  
<サークルベンチ: 口4500 x H400>  
本体: 再生木材 (SE ウッド)  
ステンレス材 (ウレタン樹脂塗装仕上げ)  
<フットライトベンチ: H3482 x 口330>  
座面: 鋼製影石 (磨き仕上げ)  
構造: ステンレス材  
ZAM 鋼板 (ウレタン樹脂塗装仕上げ)  
アクリル乳半、LED 照明

発注元: 広島市南区役所  
地域整備課  
設計事務所: 復建調査設計(株)  
設置場所: 広島県広島市  
南区松原町  
サイト担当者  
営業: 加藤  
設計: 小笠原  
竣工時期: 平成 29 年 3 月

設計金額  
パーゴラ A ¥5,300,000-  
パーゴラ B ¥1,800,000-  
ステージデッキ ¥1,450,000-  
展望デッキ ¥2,850,000-  
車止め (チェーン別) ¥69,000-/  
サークルベンチ ¥1,150,000-  
フットライトベンチ ¥199,000-/  
体

## 14

## 湯本温泉街 深川河川 (飛び石)



山口県長門市 (深川湯本)、今回は湯本温泉街で賑わう町の中心に流れる音信川 (おとずれがわ) に飛び石を設置しました。飛び石は本物の岩ではなく、GRC 擬岩で表現しています。

構造は鉄筋に GRC コンクリート (Glassfiber Reinforced Cement) を使用しています。



図 1

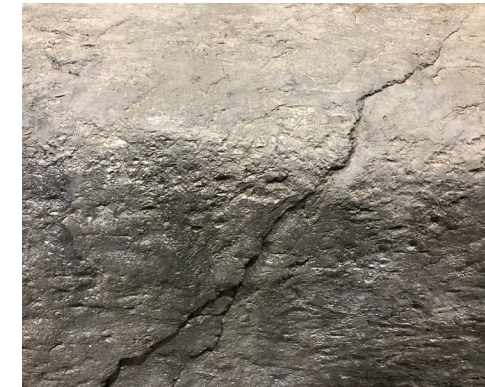


図 2

岩の模様付けは圧巻です。エイジングと呼ばれるもので、実際の岩から模様を取り出しシリコンで GRC に模様付けします。何層にもセメントを重ね、細かい調整を何度も行い、見分けの付かない擬岩が作られます。

自然にできたようなクラックや岩と岩の衝突跡…。本物の岩と比較しても見分けが付きません。(図 1.2)

設置は容易ではありませんでした。雨が降れば水量は増し数日施工が出来ない、せっかく施工した基礎が大雨で流されてしまうなんてこともありました。

施工はクレーンで基礎に設置、あらかじめ開けておいた穴からコンクリート流し込み乾燥。現場で穴をエイジングし乾燥・塗装で完成です。(図 3.4)

完成直後の擬岩も本物にしか見えません。尚且つ、飛び石はたくさんの人に踏まれることによって風化しより一層見分けのつかない岩になっていきます。



図 3



図 4

<飛び石: H400 ~ 800>  
本体: GRC コンクリート  
鉄筋骨組: SS400 (溶融亜鉛メッキ)  
SUS304 他  
設計金額 (材のみ)  
¥820,000 ~ 1,400,000- / 体

発注元: 山口県長門土木建築事務所  
設計事務所: 三井共同建設  
コンサルタント(株)  
設置場所: 山口県長門市  
竣工時期: H30 年 3 月  
サイト担当者  
設計: 小笠原  
営業: 加藤

現在星野リゾートが高級旅館を建設すると共に、温泉街全体の再生に取り組むことで長門市と協定を結び整備が進められています。

ますます魅力ある街になっていく湯本温泉郷。みなさんもぜひ一度足を運んで頂き、飛び石を渡ってみてください。